

戦争
と平和
を考える
& 歴史
文化

映画「杉原千畝」の舞台へ

「命のビザ」「日本のシンドラー」

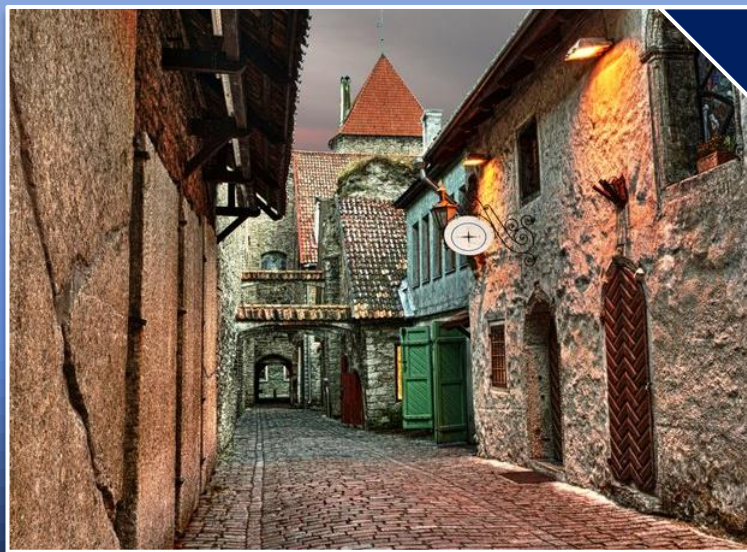
杉原千畝の足跡とバルト3国



6000人のユダヤ人を救った外交官・杉原千畝ゆかりの地と中世ハンザ同盟の息吹を感じる世界遺産の街々へ

エストニア・ラトビア・リトアニア 9日間

- 2016年6月9日(木)～6月17日(金)
- 299,800円 ● 5月9日締切



杉原千畝ゆかりの地と戦争の爪痕

杉原千畝記念館(旧日本領事館)学、ナチスの第9要塞博物館、ソ連時代の蛮行を伝えるKGB博物館を見学

異国情緒あふれる世界遺産の3都市

教会と石畳、城壁に囲まれた街～世界遺産登録のタリン、リガ、ヴィリニユスの旧市街で中世ハンザ同盟の繁栄の歴史と文化に触れる

中世宗教芸術めぐりとラトビア美術

バルトの見どころ中世宗教芸術をタリンの教会で見学、ソ連占領時代の歴史を伝えるラトビア占領博物館も見学

3か国・各首都にゆったり連泊型

タリン3連泊、リガとヴィリニユスに2連泊する「忙しく移動」しないスケジュール

ご旅行要項

- 旅行代金に含まれるもの (一部例示)
 - ・航空運賃：旅程に表記した区間の個人包括旅行運賃
 - ・宿泊料金：2人部屋基準、税・サービス料
 - ・食事代：旅程に表記のもの
 - ・空港、駅～ホテル間の送迎車料金
 - ・添乗員同行の経費(同行と明示した場合)
 - ・鉄道運賃(旅程に明示したもの)
 - ・旅程に明示した市内(郊外)見学のガイド料、入場料、チップ
- 旅行代金に含まれないもの (一部例示)
 - ・旅程以外に行動される場合の交通費、宿泊料、飲食費等
 - ・渡航手続費用：旅券印紙代(新規に申請される場合)
 - ・渡航手続手数料：出入国記録等書類作成費用、査証(ビザ)取得実費・手数料
 - ・超過手荷物料金：規定の重量・大きさ・個数を超える分
 - ・個人的費用：電話、電報、FAX、クリーニング代、追加飲食費用
 - ・お一人部屋追加料金(相部屋の方がいない場合も同様)
 - ・空港施設使用料、航空保険料および保安料
 - ・訪問国入国税、燃油特別付加運賃
 - ・日本国内の交通費、前泊の費用
 - ・任意の海外旅行傷害保険料、オプション・ツアー料金
- 時間帯の目安

およそ以下の通りです。航空機、バスなどの移動時刻をもとにした目安です。実際の時刻とは異なる場合がありますので、予めご了承ください。

早朝	朝	午前	午後	夕刻	夜	深夜
04:00	06:00	08:00	12:00	17:00	19:00	23:00
						04:00

※当パンフレット掲載の写真はすべてイメージです。

ご旅行条件(要約)

- 募集型企画旅行契約

この旅行は(株)タビーズ(以下「当社」)が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約(以下「旅行契約」)を締結し、(株)ユーラストラベルが問合せ・申込みを受付けます。旅行条件は下記ほか、別途旅行条件書(全文)、出発前にお渡しする最終旅行日程表=確定書面および当社旅行業約款募集型企画旅行契約の部によります。
- 旅行条件・旅行代金の基準

この旅行条件は2016年3月1日を基準としています。また、この旅行代金は2016年3月1日現在の有効なものとして公示されている運賃・規則、または、2016年3月1日現在認可申請中の航空運賃・適用規則を基準として算出しています。
- 旅行契約の解除

最少催行人数に達しなかった場合、旅行を中止することがあります。この場合は、出発の23日前までにお知らせします。
- 取消料

旅行契約成立後、お客様の都合で契約を解除されるときは、下記の金額を取消料として申し受けます(お一人様)。

契約解除の日	取消料
旅行開始日の前日から起算して遡って40日目にあたる日以降～31日目【ピーク時】 4/27～5/6,7/20～8/31,12/20～1/7に開始する旅行	旅行代金の10%
旅行開始日の前日から起算して遡って30日目にあたる日以降	旅行代金の20%
旅行開始日の前々日以降	旅行代金の50%
旅行開始後の解除または無連絡不参加	旅行代金の100%

※オプション・ツアー代金も上記取消料に準じます。
※査証(ビザ)取得実費代金、渡航手続手数料は、そのまま申し受けます。

“いい旅”育てて55年 東京都知事登録旅行業 第3-6973号 日本旅行業協会正会員 株式会社ユーラストラベル 総合旅行業取扱管理者：榊原 晋治

問合せ 申込先 **ユーラスツアーズ** ☎03-5562-3381 FAX 03-5562-3380

●メール: tokyo@euras.co.jp ●ホームページ: http://www.euras.co.jp

〒106-0044 東京都港区東麻布 1-26-8 イイダアネックス東麻布4階 営業時間: 月～金曜日/09:30～17:30(休業日: 土・日曜・祝日)

旅行企画・実施 観光庁長官登録旅行業第1906号 日本旅行業協会正会員 **株式会社タビーズ**

〒108-0014 東京都港区芝 5-13-18 いちご三田ビル 9階

申込方法

- ①下記の「参加予約票」に漏れなくご記入いただき、旅行社宛にメール、FAX、郵送等にてお送りください。
 ※直接お電話あるいはメールにてのお問合せ・お申込み希望のご連絡でも受け付けいたします。
 ※当社ホームページ (http://www.euras.co.jp) からでも直接「正式申込書」にご記入⇒添付してメール/FAX可。
- ②「参加予約票」あるいは直接のご連絡後、正式申込書と取引条件説明書、必要書類をお送りいたします。
 書類到着後に条件を確認いただき、申込書をお送りの上で申込金50,000円(旅行費用内金)を以下の指定口座へお振込みください。※正式申込書と申込金の到着をもって正式申込みとなります。
 ●口座名義: (株)ユーラストラベル ●郵便振替口座: ゆうちょ銀行 記号番号 00180-8-265002 (〇九店265002)
 ●銀行口座: みずほ銀行 神谷町支店(普) 口座番号: 1370507 / りそな銀行 麻布支店(普) 口座番号: 1782149
 ※領収書は、銀行あるいは郵便局が発行する明細書をもって替えさせていただきます。

ユーラスツアーズ御中 キ・リ・ト・リ

参加予約票 杉原千畝とバルト3国の旅 ※ご友人・知人の方への案内を希望される場合は、②以降の欄にご記入いただければ、同時にご案内申し上げます。

①	ふりがな	電話	③	ふりがな	電話
	お名前			お名前	
	住所			住所	
	メール			メール	
②	ふりがな	電話	④	ふりがな	電話
	お名前			お名前	
	住所			住所	
	メール			メール	

設定項目	旅行条件・費用
旅行期間	2015年6月9日(木)～6月17日(金)9日間
旅行費用	299,800円 ※子ども料金の設定はございません。
別途費用	燃油サーチャージ(¥24,520)、空港税・諸税(¥3,550) 一人部屋追加料金(¥59,500円)※相部屋の方がいない場合も要追加料金
実施人数	20名様(最低実施人数10名様) ※旅行費用はご参加人数によって異なります。
申込締切	5月9日(月) ●添乗員1名同行 ●食事条件:朝7回・昼4回・夕4回(機内食を除く)


■日程表		
日次	都市	スケジュール 【宿泊地 / 食事】
①	6/9 Ⓟ	東京・成田発 モスクワ着 タリン着 昼頃(12:00発予定):空路+ロシアの首都モスクワへ 夜:到着後モスクワで乗り継ぎ、エストニアの首都タリンへ 夜(19:50着予定):市内のホテルへ 【タリン泊 / 上上】
②	6/10 Ⓢ	タリン 午前:タリン歴史地区【世界遺産】の見学=旧市街を一望する◎トロンペアの展望台、中世から街の中心・石畳の◎ラコエ広場と素晴らしいゴシック様式の◎旧市庁舎、ヨーロッパでも珍しい14世紀からの◎城壁と旧市街の城門◎ふとっちょマルガレータ 午後:中世宗教芸術めぐり=バルトの見どころの1つタリン中世宗教芸術を◎聖霊教会と◎聖ニコラス教会 【タリン泊 / 上上上】
③	6/11 Ⓢ	タリン 終日:自由行動 *旧市街の中心ラコエ広場や石畳の通りが多く残るタリンの小路散策やウインドショッピングなど *数多く在るタリンの美術館・博物館めぐりなど 【タリン泊 / 上上上】
④	6/12 Ⓢ	ツェーシス発(約88キロ) リガ着 早朝:陸路、専用車にて13世紀からのハンザ同盟の港町として栄えたバルト3国最古の街・ラトビアの首都リガへ 着後:リガ歴史地区【世界遺産】の見学①=中世から街の中心・石畳の◎市庁舎広場、第二次大戦～スターリンによる大量流刑までのラトビアにおけるソ連占領を伝える◎ラトビア占領博物館 【リガ泊 / 上上上】
⑤	6/13 Ⓢ	リガ 午前:リガ歴史地区【世界遺産】の見学②=古都リガの至宝と呼ばれる◎リガ大聖堂、中世の住宅が残る◎「3人兄弟」の家、◎聖ペテロ教会、調金細工と彫刻が個性的な◎ブラックヘッドの会館 午後:自由行動/OPユーゲントシュティール建築群(外観見学)と◎巨大な中央市場の散策の半日観光 【リガ泊 / 上上上】
⑥	6/14 Ⓢ	リガ発(約295キロ) ヴィリニウス着 早朝:陸路、専用車にてバルト最南の国であり、ヨーロッパで最大の旧市街を有するリトアニアの首都ヴィリニウスへ 着後:ヴィリニウス歴史地区【世界遺産】の見学=遷都した際の塔◎ゲチミナスの塔と◎夜明けの門、旧ソ連時代の蛮行を伝える◎KGB博物館 【ヴィリニウス泊 / 上上上】
⑦	6/15 Ⓢ	ヴィリニウス発 カウナス着 午前:リトアニア第二の都市カウナスへ(約100キロ) 着後:「日本のシンドラ」杉原千畝ゆかりの場所を見学=「命のビザ」を発給し、6000人のユダヤ人を救った場所◎杉原千畝記念館(旧日本領事館)、ナチスドイツが5万人のユダヤ人を収容・各地へ移送した◎第9要塞博物館 夕刻:陸路、ヴィリニウスへ(夜着) 【ヴィリニウス泊 / 上上上】
⑧	6/16 Ⓢ	ヴィリニウス発 モスクワ経由 午後:空路+ロシアの首都モスクワへ～モスクワ乗り継ぎ～ 午後:空路+帰国の途へ 【機中泊 / 上上上】
⑨	6/17 Ⓢ	東京・成田着 午前(10:35着予定):到着後、入国審査・解散 【 / 上上上】

●利用予定航空会社:アエロフロート・ロシア航空(※往復エコノミークラス) ●宿泊予定ホテル(以下同等クラス):タリン(エルミターージュ)、リガ(コンベンタ・セタ)、ヴィリニウス(コンティ)
注:日程中のマーク:●印=入場見学、○印=下車見学、○印=車窓見学、上=食事付、上=自由食、上=機内食

●6000人のユダヤ人に「命のビザ」を発給し続けた外交官

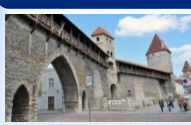
●杉原 千畝(すぎはら ちうね)
1900年(明治33年)～1986年(昭和61年)
1939年(昭和14年)8月28日カウナス領事館着任～
1940年(昭和15年)8月31日カウナスを出る

●「命のビザ」
第二次大戦当時、ポーランドとリトアニアには、多くのユダヤ人が暮らしていた。1940年にナチス・ドイツ軍が追撃している西方に退路はなく、トルコ政府がビザの発給を拒否～もはや逃げ道はシベリア鉄道を経て極東に向かうルートしかなくなっていた。ドイツ占領下のポーランドからリトアニアに逃れてきた多くのユダヤ系難民などが各国の領事館・大使館からビザを取得しようとしていたが、当時のリトアニアはソ連軍に占領されており、ソ連が各国に在リトアニア領事館・大使館の閉鎖を求めていたため、業務を続けていたカウナスの日本領事館に殺到した。「忘れもしない1940年7月18日の早朝の事であった」と回想する千畝は、あの運命の日の光景を「6時少し前、表通りに面した領事公邸の寝室の窓際が、突然人だかりの喧しい話し声で騒がしくなり、- (中略) - ゴツと100人も公邸の鉄柵に寄り掛かって、こちらに向かって何かを訴えている光景が眼に映った」と手記につづっている。日本の外務省から先国の入国許可手続を完了し、旅費及び本邦滞在費等の携帯金を有する者にのみ査証を発給せよとの指示に反し「人道上、どうしても発給を拒否できない」という理由から受給要件を満たしていない者に対しても独断で、この地を離れる1940年8月31日に列車がカウナスを出発するまで通過ビザを発給し続けた。国家や政府の枠を超え、自らの危険も顧みずに6000人にのぼるユダヤ人を救った「日本のシンドラ」と呼ばれる。




タリン

13世紀に創設された町。下町は、おもにドイツ商人が築いたもので、ハンザ同盟都市として繁栄。町を取り囲む城壁、教会、市庁舎、ハンザ商人の住居や倉庫などが、中世そのままの姿で保存されている。



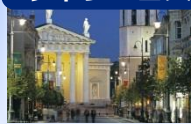
リガ

バルト海に一世を風靡したハンザ同盟の中心的な街。13世紀に住民をキリスト教徒化するため、十字軍騎士団とともに上陸したドイツ人僧正により創設された。旧市街には、教会や商人の住居、石畳の細い道などが残り、中世の面影を今に伝えている。




ヴィリニウス

歴史的にポーランドとのつながりが深く、バルト三国のほかの首都のようなハンザ同盟による影響も受けていない。「小さなローマ」とも呼ばれる美しい街並みの旧市街とアール・ヌーヴォー建築が、ヨーロッパで最も集中して見られる町。



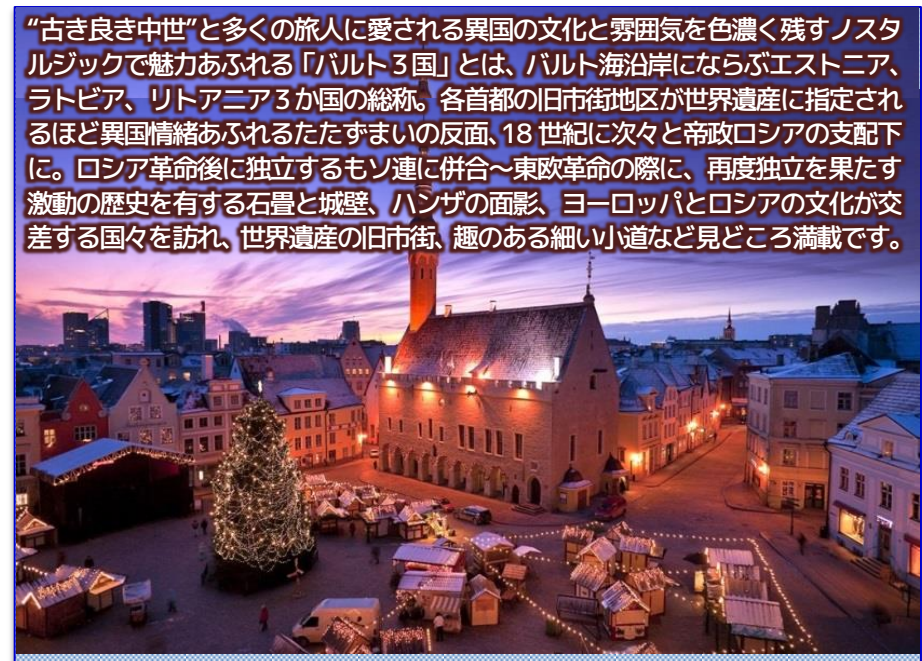
カウナス

ソビエト連邦併合以前の首都であり、現在はリトアニア第二の都市。歴史は古く10世紀まで遡り、ハンザ同盟都市として栄える。第二次大戦時はナチス・ドイツによって破壊される。戦後はソ連に併合され、ソ連崩壊とともに独立する。




オプション・ツアー ユーゲントシュティール建築群と中央市場

●15,000円(お一人様料金) ●10名以上で実施 ●専用車・ガイド・昼食付 13:00-18:00頃
●ユーゲントシュティール(建築群):19世紀～20世紀にかけて流行した新建築様式アール・ヌーヴォーのドイツ語。奇抜なデザインは、人や花などをモチーフにしている。
●巨大な中央市場:巨大な空間に凄然と店が並び、色とりどりの果物や野菜、肉やチーズが積み上げられ、そこでクラス人々の生活のいっぴんを垣間見ることができる。




エストニア Estonia

ヨーロッパ北東部、バルト海に面するエストニアは、最北のハンザ同盟都市であるタリンを首都とする。中世の薫り漂うタリンの旧市街は、歴史都市としてユネスコ世界遺産に登録されています。エストニアには150年以上の歴史をもつ医療目的の泥スパや美容のためのスパなども充実し、ヨーロッパの隠れ家的な存在として近年人気が高まっています。日本とはひと味もふた味も異なった花鳥風月が感じられる国エストニア。



ラトビア Latvia

800年以上の歴史を誇るラトビアは、バルト3国の中心に位置する国です。貿易の要所として栄え、これまで多くの人々や文化を快く受け入れてきました。「バルトの真珠」とも讃えられる首都リガの旧市街・歴史地区は世界文化遺産に登録されるほど、美しく、13世紀ハンザ同盟の面影を残すパロックの街並みやアールヌーボーなどの建造物が数多く現存し、中世の面影が色濃く残る港町として知られています。



リトアニア Lithuania

バルト海の東部に位置するリトアニアは、国土の98%が農地と森林に覆われた大小合わせ約4000の湖を有する「森と湖の国」。「小さなローマ」とも呼ばれ、美しい首都ヴィリニウスの旧市街は、世界遺産に登録される異国情緒にあふれた古都。また、第二次世界大戦中、「日本のシンドラ」と呼ばれる外交官の杉原千畝が、ユダヤ人救出のための「命のビザ」を発給した国。旧ソ連時代からも「奇跡の独立」を果たしたリトアニア。

